

きぼう かぜ
希望の風

た や しゅうすけ
田矢 修介



問 混雑による危険な状態の津駅西口駅前広場のより良い整備を

津駅西口駅前広場の整備については、令和元年9月議会で初めて声をあげてから、5年が経過し、現在、大きな局面を迎えていると考えている。

令和7年3月の津駅西口駅前広場基本計画の策定に向けて、課題事項へのさらなる検討が期待されるが、配置計画案・整備イメージ（Ver.3）で示された一般車両の待機場の枠16台について、この限られた台数で足りるのか、設定台数の根拠を問う。

答 いただいたご意見を精査して必要に応じて反映していく

津駅西口駅前広場周辺の車両の滞留状況等を把握するため、本年10月に朝と夜の最も混雑する時間帯において交通量調査を実施したところ、午後9時前後に車両滞留のピークがあり、駅利用者以外も含めて駅前広場と北側道路で27台の送迎車が駐停車する状況を確認した。これまでの意見募集でも一般送迎車の待機スペースの不足が指摘されていたことから、駅前広場中央部を最大限活用した一般送迎車の乗車・待機場枠16台分と、駅舎近くに一般送迎車およびタクシーの降車場4台分を設け、合わせて20台分のスペースで駅利用者の車両滞留には対応できると考えている。

その他の質疑・質問

- 津市総合防災訓練について
 - 訓練を実施したことで見えてきた課題と成果は
 - 各地域で行われている防災訓練への支援を
- 安濃川・穴倉川・岩田川流域の整備による地域住民の浸水に対する不安の解消と生活の安全を
- 広報津月1回化により紙面の在り方への影響や同時配布物増加に伴う自治会負担増大への対応は

▶ 津駅西口駅前広場の整備イメージ(Ver.3) (西側から)

50年の時を経て新たに生まれ変わる津駅西口駅前広場のイメージ図



こうめいとうぎいんだん
公明党議員団

あづみ
安積 むつみ



問 (仮称) 津市子どもまんなか社会実現会議について問う

令和5年4月施行の子ども基本法に基づき設置が予定されている（仮称）津市子どもまんなか社会実現会議は、子どもたちが自分の意見を直接伝え、市政に参画する機会となるが、意見を聞くだけでなく、制度や政策へ反映していくために、予算の提案権を持つ会議としてはどうか。子どもや若者などの意見を聞くことの大切さを社会全体に広げていくことも、津市の大事な役割ではないか。

答 構成員の意見を幅広く聞き、政策実現につながるよう取り組む

（仮称）津市子どもまんなか社会実現会議は、子ども・若者、子育て当事者が自由に意見を出し合い、市と対話を重ねながら、本市の子ども・子育て政策を生み出す創造的な会議となるような運営を検討している。会議で議論された子ども・子育て政策の方向性については、会議の核である構成員の意見を幅広く聞いた上で、政策実現につながるよう取り組んでいきたい。また、会議が何らかの形で予算の提案権のようなものを持てるよう、検討していく。

その他の質疑・質問

- 議案第109号 令和6年度津市一般会計補正予算
 - 観光振興事業負担金
 - 学校施設維持補修事業
- 青年期のプレコンセプションケアについて
- G I G Aスクール構想におけるタブレット端末の更新について
- 津市オリジナル出生届・命名書の作成について

男女を問わず、将来の妊娠のための健康教育を促すプレコンセプションケア

